



## 「希望」の実 第二幕 いちご苗の引越し

2月15日、巨理町から移住したいちご生産者の皆さんが丹念に育てたいちごの苗が大滝区の栽培施設から、東関内町の就農支援・研修教育施設（仮称）内に引っ越ししました。

引越しを終えたのは、「紅ほっぺ」と呼ばれる品種、約3,400株。

発達した低気圧が北海道付近を通過した影響で強い風雪を伴う悪天候の中、施設内に設置された直管パイプを組み合わせた高設栽培用の架台に、いちご生産者やJA伊達市職員など約40名が手渡しで、いちご苗が定植された苗床を運びこみました。

市は、今年から伊達に適したいちご品種の栽培試験・研究を行います。



市職員も作業をお手伝いしました

## 農業を取り巻く厳しい現状に理解を深める 平成23年度農業セミナー

2月2日、防災センターで市農業委員会主催の「平成23年度農業セミナー」が開催されました。

セミナーには、市農業委員や農業振興改善組合員などが参加、講師に北海道農業会議事務局次長の佐久間亨さんを招き、『現在の農業情勢と農業生産法人の設立について』と題した講演が行われました。

講演で佐久間さんは、日本のTPP（環太平洋経済協定）交渉参加の現在までの情勢や農業生産法人設立までの手続きなどについて詳しく解説しました。



講師の佐久間 亨さん

遠く離れたふるさとの思い出に話が弾みました



## 歌手 こおり健太さん いちご生産者を訪問

1月23日、巨理町いちご生産者の皆さんのもとに、うれしい来客がありました。

訪問したのは宮城県山元町出身で演歌歌手のこおり健太さん。道内でのラジオ番組の収録など忙しいスケジュールの合間をぬって、東関内町のいちご生産施設を訪問し、直筆のサインやCDを贈りました。

保育士の経験もお持ちのこおりさん、いちご生産者の皆さんと共通の保育士の知人に話がおよぶなど、終始和やかな雰囲気です。

## 「第58回文化財防火デー」防火訓練

毎年1月26日の「文化財防火デー」にあわせて、国の重要文化財に指定されている旧三戸部家住宅や迎賓館などで防災訓練が行われました。

有珠善光寺では同寺住職や檀家など関係者が参加、境内で火災が発生したとの想定で、消防署への通報や、放水訓練などが行われました。

主催した伊達消防署予防課の武川克由さんは「今まさに火を扱うことが多い季節です、火の元には十分気を付けてください」と話してくれました。



善光寺本堂への放水訓練

オニをやっつけるぞ!と元気よく豆まき



## 関内小学校「豆まき集会」

2月3日節分の日、関内小学校で毎年恒例の『豆まき集会』が開催されました。

良い1年を迎えるために、全校児童が自分の中にいる「わすれものオニ」や「ねぼうオニ」などのオニを退治する行事で、6年生などが扮するオニ達が登場すると、児童たちは元気よく豆をまきました。この催しには、4月に入学予定の新1年生4名も参加し、学校生活を共にするお兄さんやお姉さんと交流を深めました。



## 元気になろう!!伊達 『第参戦だて雪まつり-冬の陣-』

2月12日、カルチャーセンターで、『第参戦 伊達雪まつり-冬の陣-』が開催されました。イベントが少ない冬期間で行う伊達市独自のお祭りも第3回目。今年は『元気になろう!!伊達』をサブテーマに行われました。

当日は例年がない寒さと吹雪に見舞われる悪天候でしたが、毎年人気のあるすべり台や、宝探し、働く車展示コーナー、室内で行われたヒーローショーが多くの人でにぎわいました。

また、伊達ウィンターまるごと市では、伊達の味覚が味わえる店のテントがずらりと並び、訪れた人の体を温めました。



働く車展示で  
消防車は大人気

